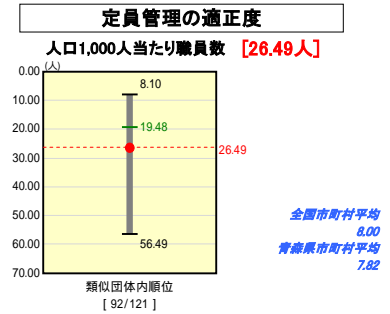
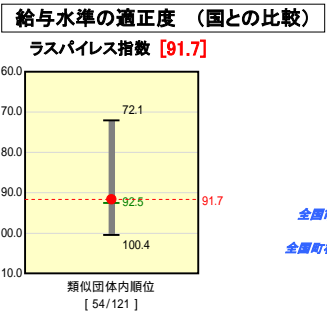
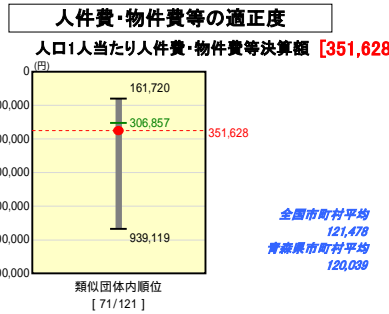
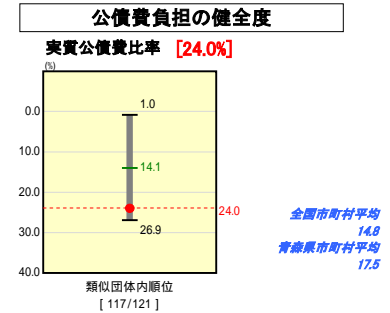
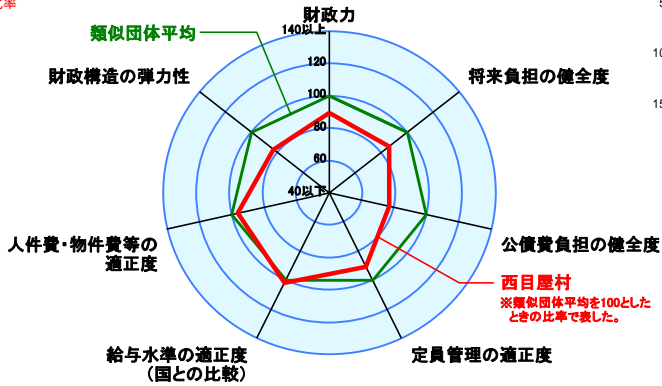
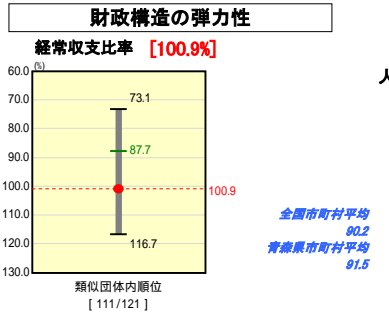
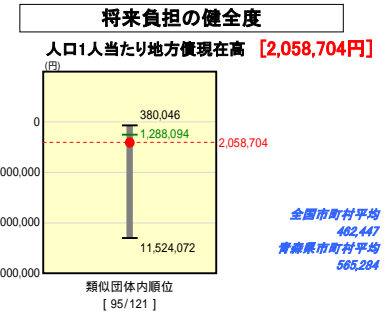
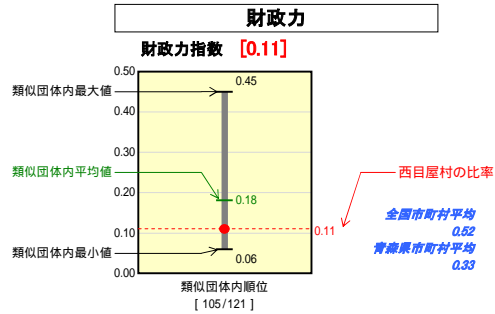


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

青森県 西目屋村

人口	1,699	人(H18.3.31現在)
面積	246.58	km ²
歳入総額	2,090,299	千円
歳出総額	2,021,060	千円
実質収支	37,881	千円



分析欄

【財政力指数】

津軽ガム建設に伴う人口の流出や高齢化の進展(18年3月末現在34%増)に加え、主要産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均を0.07ポイント下回っている。18年度に組織の見直し(4課体制から1課減の3課体制、出先機関の統合)や保育所の民営化を実施している。今後も退職者の一部不補充等による歳出削減を行い財政の健全化を図る。

【経常収支比率】

水道料金の改定(17年7月から現行の1.5倍)や高利率の地方債の借換により繰入金及び公債費の削減を図っているものの、依然として繰出金は増加傾向にあり、また、公債費もピークを脱したものの高い水準にあるため比率は年々悪化している(対前年度比1.8ポイント上昇)。繰入金については、今後も水道料金の改定(20年7月から17年の改定前の2倍)により抑制を図る。公債費については、普通建設事業費に係る新規地方債の発行の抑制を図る。

【実質公債費比率】

普通建設事業費に係る起債の償還が高水準で推移していることから類似団体平均値を大きく上回っている(9.9ポイント)。平成16年度から作成している財政運営計画及び公債費負担適正化計画に沿った財政運営に努め実質公債費比率の更なる上昇を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】

人口が少ないこともあり(県下で最小、17国調1,597人)人口1人当たりの地方債残高は類似団体平均値よりも770.610円上回っている。新規地方債の発行の抑制や20年度以降の繰上償還の実施により、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

【ラスパイレス指数】

類似団体平均値を0.8ポイント下回っている。今後も給与の適正化に努めていく。

【人口1,000人当たり職員数】

現状では類似団体平均値よりも7.01人上回っている。17年10月に策定した定員適正化計画に基づいた退職者の一部不補充により22年度までに4人の削減を図る。

【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】

人件費、物件費及び維持補修費の合計額の1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費を要因としており、保育所を直営で行っているためであるが、18年4月1日から民営化している。今後も、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく。